

## 日整連 過去12回分登録試験の推移 3級ガソリン

試験年月	受験者数	合格者数	合格率
令和5年10月	3,756人	2,779人	74.0%
令和5年3月	4,008人	2,881人	71.9%
令和4年10月	3,747人	2,599人	69.4%
令和4年3月	3,801人	2,840人	74.7%
令和3年10月	3,527人	2,664人	75.5%
令和3年3月	4,172人	3,250人	77.9%
令和2年10月	2,351人	1,449人	61.6%
令和2年3月	4,043人	2,875人	71.1%
令和元年10月	3,644人	2,409人	66.1%
平成31年3月	4,229人	2,696人	63.8%
平成30年10月	3,811人	2,532人	66.4%
平成30年3月	4,701人	2,790人	59.3%
12回分平均	3,899人	2,605人	66.8%

※日整連調べ。

### 3級ガソリン 過去12回の出題傾向 (公論出版調べ)

3級ガソリンの登録試験過去12回分を分析し、出題傾向としてまとめました。

下記の弊社HPより閲覧できます。試験対策にご活用ください。



[HP] <https://kouronpub.com/seibishi/monkai/>

## 第1章

# 基礎工学

5ページ

## 第2章

# エンジン

87ページ

## 第3章

# 電気装置

175ページ

## 第4章

# 電子制御装置

215ページ

## 第5章

# 法令

229ページ

# はじめに

①本書は、日整連の登録試験について、出題された問題をジャンル別に区分し、それぞれに解説を加えたものです。

②過去の出題問題は、合計12回分を収録してあります。ただし、過去に出題された頻度が少ないものの、必要な知識と思われる内容の問題については、12回分以前のものも収録してあります。

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| ①令和5年度第1回（令和5年10月実施）   | ②令和4年度第2回（令和5年3月実施）   |
| ③令和4年度第1回（令和4年10月実施）   | ④令和3年度第2回（令和4年3月実施）   |
| ⑤令和3年度第1回（令和3年10月実施）   | ⑥令和2年度第2回（令和3年3月実施）   |
| ⑦令和2年度第1回（令和2年10月実施）   | ⑧平成元年度第2回（平成2年3月実施）   |
| ⑨令和元年度第1回（令和元年10月実施）   | ⑩平成30年度第2回（平成31年3月実施） |
| ⑪平成30年度第1回（平成30年10月実施） | ⑫平成29年度第2回（平成30年3月実施） |

③各章の順序は、以下のとおりです。

- ◎第1章 基礎工学      ◎第2章 エンジン      ◎第3章 電気装置  
◎第4章 電子制御装置      ◎第5章 法令

④「第1章 基礎工学」については、試験に合格する上で、計算問題に対する十分な理解がどうしても必要なため、あえて計算問題を先にしました。

⑤各章の項目の順序は、できるだけ日整連発行の教科書に合わせました。

⑥また、各項目の初めに **学習チェック▶** を用意しました。問題の理解度の目安として使用してください。

⑦設問の最後に[R5.10]などがあるのは、試験の実施時期を表しています。[R5.10]であれば、令和5年10月に実施された登録試験の問題となります。また、[H31.3]であれば、平成31年3月に実施された登録試験の問題となります。

問題の出題後、教科書の改訂や法改正等により内容が不適切となる問題は、編集部で手を加えています。その場合、実施時期の後に「改」を入れました。

また、[3C][3D]などの表示は、他の整備士試験の出題問題であることを表します。

⑧解説は **！ポイント解説** と **一般解説** の2種類用意しました。**！ポイント解説** は四肢択一の問題で不適切な場合、どの部分が不適切であるかが簡単にわかるように解説しています。**一般解説** では、問題を解く上で必要な知識及び関連して知っておいた方が良い内容をまとめてあります。必ずしも1つの問題に対して、1つの解説というわけではなく、また、複数の問題に対して、1つの解説ということもあります。

⑨解説の中で [3ガ3章] などとあるのは、日整連発行の教科書の出題箇所を表しています。[3ガ3章] は、「3級ガソリン」の「第3章」の内容から出題されています。教科書名は、次のとおりです。また、教科書以外の部分から出題されている場合は、[教科書外] としました。なお、教科書は令和5年12月現在のものを使用しています。

- ◎ [基礎] …基礎自動車工学      ◎ [基礎整備] …基礎自動車整備作業
- ◎ [3ガ] …3級ガソリン          ◎ [3ジ] …3級ジーゼル
- ◎ [2ガ] …2級ガソリン

⑩自動車用語は、ほとんど英語となっています。自動車用語を理解し覚える上で、元の英語の意味がわかると、たいへん参考となります。そこで、本書では主な自動車用語について、**用語** 欄を設け、英語の一般的な意味を掲載しました。次の英和辞典を参考としています。

- ◎新英和中辞典 第6版 (株) 研究社発行
- ◎新英和大辞典 第5版                      〃

⑪法令問題は、令和5年12月時点の法令を基準としています。

⑫令和5年10月の登録試験の合格率(3級ガソリン)は、74.0%でした。本書は試験に合格できなかった受験生や、合格したものの合否ボーダーライン上にいた受験生の方々を読者の中心対象として編集しています。そのため、同様の解説を複数回繰り返している部分(計算問題、バルブ・タイミング等)があります。ご了承ください。

令和6年1月 編集部

# 第1章 基礎工学

## 1 計算基礎

1-1	乗除の応用	6
1-2	比例と方程式	8
1-3	単位の考え方	10
1-4	荷重の配分	12
1-5	割り算のテクニック	15
1-6	答えと計算のチェック	16

## 2 計算問題

2-1	燃焼室	17
2-2	平均ピストン速度	25
2-3	トルク	26
2-4	ベルト機構	28
2-5	電気回路 [1]	33
2-6	電気回路 [2]	34
2-7	電気回路 [3]	37
2-8	電力	47

## 3 工学一般

3-1	自動車の構造 [警報装置]	50
3-2	自動車の材料 [鉄鋼]	52
3-3	自動車の材料 [非鉄金属とガラス]	54
3-4	自動車の機械要素 [ねじ]	56
3-5	自動車の機械要素 [ボルトとナット]	58
3-6	自動車の機械要素 [ベアリング等]	60
3-7	燃料	64
3-8	潤滑剤	66
3-9	基礎的な原理・法則	70

3-10	整備作業 [サーキット・テスト]	74
3-11	整備作業 [測定機器]	77
3-12	整備作業 [工具]	80

◆解答		86
-----	--	----

# 2

# 計算問題

## 2-1 燃焼室

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□ 【3】□□□

【1】シリンダ内径70mm，ピストンのストロークが85mmの4サイクル4シリンダ・エンジンの1シリンダ当たりの排気量として，適切なものは次のうちどれか。ただし，円周率は3.14として計算し，小数点以下を切り捨てなさい。[R2.10]

- 1. 38cm<sup>3</sup>
- 2. 153cm<sup>3</sup>
- 3. 326cm<sup>3</sup>
- 4. 486cm<sup>3</sup>

【2】排気量400cm<sup>3</sup>，燃焼室容積40cm<sup>3</sup>のガソリン・エンジンの圧縮比として，適切なものは次のうちどれか。[R5.10/R2.3]

- 1. 9
- 2. 10
- 3. 11
- 4. 12

【3】次に示す諸元のエンジンの総排気量について，適切なものは次のうちどれか。

[R5.3]

- 1. 585cm<sup>3</sup>
- 2. 1,755cm<sup>3</sup>
- 3. 1,950cm<sup>3</sup>
- 4. 2,145cm<sup>3</sup>

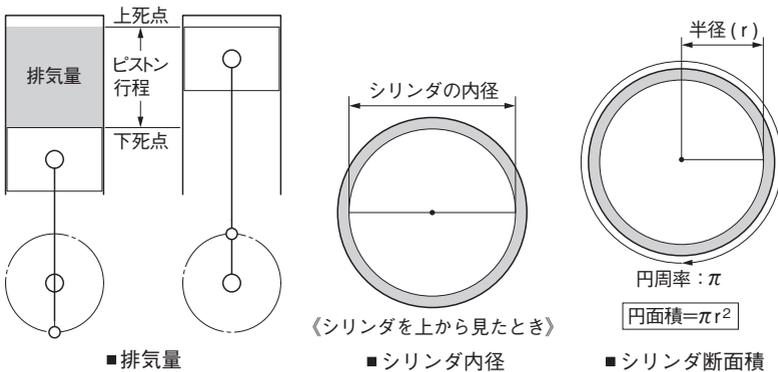
・燃焼室容積：65cm <sup>3</sup>
・圧縮比：10
・シリンダ数：3

【1】

- ①排気量とは、ピストンが下死点から上死点に移動する間の容積をいいます。  
 ②排気量を求める式は次のとおりです。

$$〔排気量〕 = 〔シリンダ断面積〕 \times 〔ピストン行程〕$$

- ③シリンダ断面積とは、シリンダ断面の円の面積をいいます。円の面積は  $\pi r^2$  ( $\pi$  : 円周率,  $r$  : 半径) を使って求めます。また、半径は、直径 (設問の場合はシリンダ内径を指します) の半分なので、設問の場合の半径は、35mm ( $70\text{mm} \div 2$ ) となります。



- ④シリンダ断面積は  $3.14 \times 35\text{mm} \times 35\text{mm}$  となります。  
 ⑤次に、ピストン行程 (ストローク) とは、ピストンが上死点から下死点、または下死点から上死点へ移動することをいいます。設問から85mmです。  
 ⑥以上のことから、エンジンの排気量は次のとおりになります。

$$〔排気量〕 = 〔シリンダ断面積〕 \times 〔ピストン行程〕$$

$$= 3.14 \times 35\text{mm} \times 35\text{mm} \times 85\text{mm}$$

- ⑦ここで、解答の選択肢の単位に合わせるために『mm』を『cm』に換算します。換算の方法は、1mmは1cmの1/10なので、 $1\text{mm} = 0.1\text{cm}$  となります。

★ mm ⇒ cm ★

1 mm を cm に換算すると 0.1cm。  
 10mm を cm に換算すると 1 cm。  
 100mm を cm に換算すると 10cm。  
 すなわち、mm を cm に換算するときには、10で割ればよい。  
 逆に cm を mm に換算する場合には10をかければよい。

# 第2章 エンジン

## 1 総論

1-1	燃 焼	88
1-2	排出ガス	92
1-3	三元触媒	94
1-4	EGR装置	95
1-5	燃料蒸発ガス排出抑止装置	96
1-6	ブローバイ・ガス還元装置	98

## 2 エンジン本体

2-1	燃焼室／シリンダ・ヘッド	100
2-2	ピストン	102
2-3	ピストン・リング	103
2-4	コンロッド／ コンロッド・ベアリング	108
2-5	クランクシャフト [1]	111
2-6	クランクシャフト [2]	114
2-7	フライホイール／ リング・ギヤ	116
2-8	バルブ機構	119
2-9	直4バルブ・タイミング [1]	124
2-10	直4バルブ・タイミング [2]	127
2-11	直4バルブ・タイミング [3]	128
2-12	直4バルブ・タイミング [4]	143
2-13	エンジン本体の点検	144

## 3 潤滑装置

3-1	オイル・ポンプ	147
3-2	オイル・フィルタ	151

## 4 冷却装置

4-1	ラジエータ	154
4-2	サーモスタット [1]	158
4-3	サーモスタット [2]	163
4-4	不凍液	164
4-5	整 備	166

## 5 吸排気装置

5-1	エア・クリーナ	168
5-2	マニホールド及びマフラ	169

◆解 答	173
------	-----

## 1-1 燃 焼

学習チェック▶ [1] □□□ [2] □□□ [3] □□□ [4] □□□ [5] □□□  
[6] □□□

[1] ガソリン・エンジンの燃焼に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**  
[R5. 3]

1. 燃料蒸発ガスとは、フューエル・タンクなどの燃料装置から燃料が蒸発し、大気中に放出されるガスをいう。
2. 燃料蒸発ガスに含まれる有害物質は、主にHC（炭化水素）である。
3. 一般に始動時、高負荷時などには、理論空燃比より薄い混合気が必要となる。
4. ノッキングの弊害の一つに、異音の発生がある。

[2] ガソリン・エンジンの燃焼及び排出ガスに関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**[R4. 10]

1. ブローバイ・ガスとは、ピストンとシリンダ壁との隙間から、クランクケース内に吹き抜けるガスをいう。
2. 一般に始動時、高負荷時などには、理論空燃比より薄い混合気が必要となる。
3. ノッキングの弊害の一つに、エンジンの出力の低下がある。
4. 燃料蒸発ガスに含まれる有害物質は、主にHC（炭化水素）である。

[3] ガソリン・エンジンの燃焼に関する記述として、**不適切なものは次のうちどれか。**  
[R3. 10/R2. 3]

1. ブローバイ・ガスとは、フューエル・タンクなどの燃料装置から燃料が蒸発し、大気中に放出されるガスをいう。
2. ノッキングの弊害の一つに、エンジンの出力の低下がある。
3. 一般に始動時、高負荷時などには、理論空燃比より濃い混合気が必要となる。
4. 燃料蒸発ガスに含まれる有害物質は、主にHC（炭化水素）である。

## ！ポイント解説

- 【1】3. & 【2】2. 一般に始動時、高負荷時には、理論空燃比より濃い混合気が必要となる。
- 【3】1. 設問の内容は燃料蒸発ガス。
- 【4】4. 始動時、アイドリング時、高負荷時などには、濃い混合気が必要となる。
- 【5】1. ガソリン・エンジンの熱効率は、技術の進歩により40%近くまで向上している。
  - 2. 始動時、アイドリング時、高負荷時などには、濃い混合気が必要となる。
  - 3. 設問の内容は熱効率。
- 【6】1. ピストンの上死点を過ぎた辺りで最高圧力に達する。
  - 3. 燃料蒸発ガスに含まれる有害物質は、主にHC（炭化水素）である。
  - 4. 始動時、アイドリング時、高負荷時などには、濃い混合気が必要となる。

## 一般解説

### 燃焼後の成分 [基礎6章]

- ①シリンダ内で燃料と空気の混合気が**燃焼**すると、大部分は $N_2$ （窒素）、 $H_2O$ （水蒸気）、 $CO_2$ （炭酸ガス）となります。
- ②同時に**不完全燃焼**などによる $CO$ （一酸化炭素）、 $HC$ （炭化水素）、 $PM$ （粒子状物質）も発生します。
- ③燃焼温度が高いとエンジンに吸入された空気中の $N_2$ と $O_2$ （酸素）が反応して $NO_x$ （窒素化合物）が発生します。

### 燃焼に必要な空気量 [3ガ1章]

- ①1kgのガソリンを燃焼させるの必要な空気量は、理論上約15kgとされています。
- ②一般に、中負荷の定速で運転している場合は、理論上の質量に近い空気量で燃焼が行われます。
- ③**始動時**、**アイドリング時**、**高負荷時**などには、**濃い混合気**が必要となります。

### 熱効率 [3ガ1章]

- ①エンジンの**熱効率**とは、有効な仕事に変えられた熱量と、供給された燃料の発熱量との比をいいます。熱効率は一般に%で表されます。
- ②ガソリン・エンジンの熱効率は、従来30%程度に留まっていたましたが、技術の進歩により**40%近くまで向上**しています。一方、ディーゼル・エンジンの熱効率は、約30~34%です。
- ③エンジンに供給された燃料の発熱量は、軸出力として取り出される有効な仕事のほかは、冷却や排気などの熱損失として大部分が失われます。

# 第3章 電気装置

## 1 電気一般

- 1-1 半導体…………… 176

## 2 バッテリ

- 2-1 バッテリ [1] …… 183  
2-2 バッテリ [2] …… 186

## 3 始動装置

- 3-1 スタータ [一般] …… 190  
3-2 スタータ [作動] …… 196

## 4 充電装置

- 4-1 オルタネータの構造 …… 198  
4-2 三相交流と整流 …… 203

## 5 点火装置

- 5-1 イグニッション・コイル …… 206  
5-2 スパーク・プラグ [1] …… 208  
5-3 スパーク・プラグ [2] …… 212

- ◆解答…………… 214

## 1-1 半導体

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□ 【3】□□□ 【4】□□□ 【5】□□□  
 【6】□□□ 【7】□□□ 【8】□□□ 【9】□□□ 【10】□□□  
 【11】□□□

【1】半導体に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[R5. 10]

1. フォト・ダイオードは、光信号から電気信号への変換などに用いられている。  
 2. 真性半導体は、シリコンやゲルマニウムに他の原子をごく少量加えたものである。  
 3. P型半導体は、自由電子が多くあるようにつくられた不純物半導体である。  
 4. ダイオードは、直流を交流に変換する整流回路などに使われている。

【2】半導体に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[R5. 3/H31. 3]

1. IC（集積回路）は、「はんだ付けによる故障が少ない」、「超小型化が可能になる」、「消費電力が少ない」などの特長がある。  
 2. N型半導体は、自由電子が多くあるようにつくられた不純物半導体である。  
 3. 真性半導体は、シリコンやゲルマニウムに他の原子をごく少量加えたものである。  
 4. 発光ダイオードは、順方向の電圧を加えて電流を流すと発光するものである。

【3】半導体に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

[R4. 10/R3. 3/H30. 3]

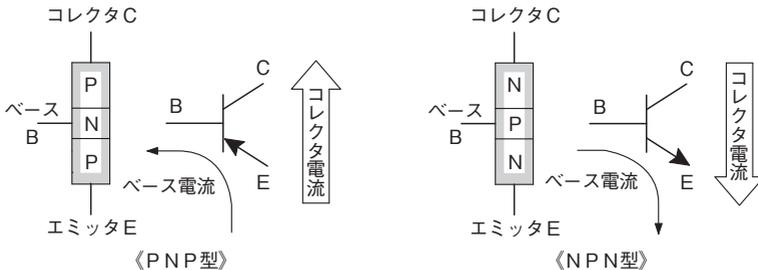
1. フォト・ダイオードは、光信号から電気信号への変換などに用いられている。  
 2. ツェナ・ダイオードは、電気信号を光信号に変換する場合などに用いられている。  
 3. トランジスタは、スイッチング回路などに用いられている。  
 4. ダイオードは、交流を直流に変換する整流回路などに用いられている。

### 半導体 [3ガ7章]

- ①半導体は、電気を通しやすい「**導体**」と電気を通さない「**絶縁体**」の中間に位置しています。
- ②半導体には、シリコンやゲルマニウムなどの**真性半導体**と、シリコンやゲルマニウムなどに**他の原子をごく少量加えた不純物半導体**があります。
- ③電子が不足した状態（**正孔が多くあるようにつくられた半導体**）を**P型半導体**といいます。また、正孔によって電気伝導が行われて電子が余った状態（**自由電子が多くあるようにつくられた半導体**）を**N型半導体**といいます。

### トランジスタ [3ガ7章]

- ①トランジスタは、N型半導体をP型半導体で挟んだ構造（**PNP型**）、又はP型半導体をN型半導体で挟んだ構造（**NPN型**）となっています。
- ②いずれも、中央部をベース（B）、片側の部分をエミッタ（E）、もう一方の部分をコレクタ（C）と呼んでいます。
- ③PNP型は、**エミッタからベースに流れるわずかなベース電流**を制御することにより、**エミッタからコレクタへ流れる大きなコレクタ電流**を制御することができます。
- ④NPN型は、**ベースからエミッタに流れるわずかなベース電流**を制御することにより、**コレクタからエミッタに流れる大きなコレクタ電流**を制御することができます。



■トランジスタ

- ⑤この特性を利用して、トランジスタは、小さな信号の「ある」「なし」で大きな電流を断続するスイッチング回路などに使用されています。

# 第4章 電子制御装置

---

## 1

## 各種装置

1-1	吸気系統	216
1-2	燃料系統	219
1-3	制御系統	223
◆	解答	228

## 1-1 吸気系統

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□ 【3】□□□

【1】電子制御装置に用いられるセンサ及びアクチュエータに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[R5. 3/R3. 10]

1. 電子制御式スロットル装置のスロットル・ポジション・センサは、アクセル・ペダルの踏み込み角度を検出している。
2. 熱線式エア・フロー・メータの出力電圧は、吸入空気量が少ないほど高くなる。
3. 空燃比センサは、インテーク・マニホールドに取り付けられている。
4. バキューム・センサの圧力信号の電圧特性は、インテーク・マニホールド圧力が真空から大気圧に近づくほど出力電圧が大きくなる。

【2】電子制御装置に用いられるセンサに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[R3. 10/R1. 10/H31. 3]

1. バキューム・センサは、シリコン・チップ（結晶）に圧力を加えると、その電気抵抗が変化する性質を利用している。
2. ジルコニア式O<sub>2</sub>センサのジルコニア素子は、高温で内外面の酸素濃度の差がないときに起電力が発生する性質がある。
3. 吸気温センサのサーミスタ（負特性）の抵抗値は、吸入空気温度が低いときほど小さくなる。
4. クランク角センサは、クランク角度及びスロットル・バルブの開度を検出している。

【3】電子制御装置に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[H31. 3]

1. インジェクタの燃料の噴射量は、ソレノイド・コイルへの通電時間によって決定される。
2. 電子制御式スロットル装置のスロットル・モータには、DCモータが用いられている。
3. 熱線式エア・フロー・メータは、吸入空気量が多いほど出力電圧は低くなる。
4. ピックアップ・コイル式のカム角センサは、シリンダ・ヘッドに取り付けられ、カム角度の検出に用いられている。

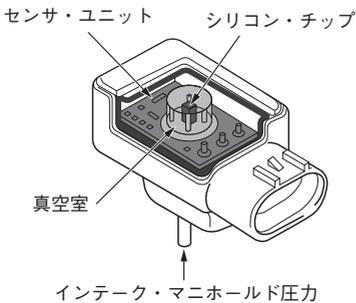
## ！ポイント解説

- 【1】1. 「アクセル・ペダルの踏み込み角度」⇒「スロットル・バルブの開度」。  
2. 「少ないほど高くなる」⇒「多いほど高くなる」。  
3. 「インテーク・マニホールド」⇒「エキゾースト・マニホールド」。
- 【2】2. 「酸素濃度の差がないときに」⇒「酸素濃度の差が大きいつきに」。  
3. 「低いときほど小さくなる」⇒「低いときほど大きくなる」。  
4. 「スロットル・バルブの開度」⇒「ピストン上死点」。
- 【3】3. 「出力電圧は低くなる」⇒「出力電圧は高くなる」。

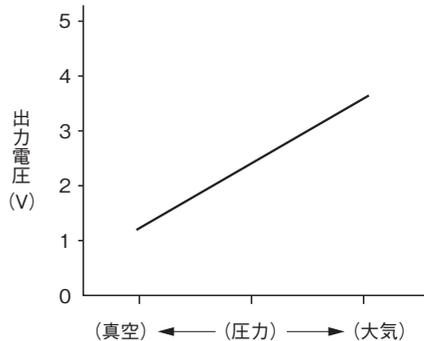
## 一般解説

### ■バキューム・センサ [3ガ8章]

- ①電子制御式燃料噴射装置では、適正な混合気を得るために、正確な吸入空気量を検出する必要があります。
- ②バキューム・センサは、インテーク・マニホールド内の圧力（負圧）を計測するもので、この圧力により吸入空気量を検出します。このセンサはシリコン・チップ（結晶）に圧力を加えると、その電気抵抗が変化する性質をもつ半導体を利用したものです。
- ③バキューム・センサはインテーク・マニホールド圧力（絶対圧）を電気信号として検出し、ECUに入力します。
- ④圧力信号の電圧特性は、圧力が大気圧に近づくほど出力電圧が大きくなっています。



■バキューム・センサ



■圧力信号の電圧特性

# 第5章 法令

## 1 車両法 / 点検基準

- 1-1 自動車の種別 …………… 230
- 1-2 登録制度 …………… 232
- 1-3 検査制度 …………… 233
- 1-4 認証制度 …………… 234
- 1-5 定期点検 …………… 236

## 2 保安基準

- 2-1 車体構造 …………… 241
- 2-2 燃料装置 …………… 244
- 2-3 窓ガラス …………… 245
- 2-4 前方の灯火 …………… 246
- 2-5 後方の灯火 …………… 250
- 2-6 警音器 …………… 255
- 2-7 非常信号用具 …………… 256
- 2-8 緊急自動車 …………… 257

- ◆解答 …………… 258

# 1

# 車両法 / 点検基準

## 1-1 自動車の種別

学習チェック▶ 【1】□□□ 【2】□□□ 【3】□□□ 【4】□□□ 【5】□□□  
【6】□□□

【1】「道路運送車両法」に照らし、次の文章の（ ）に当てはまるものとして、適切なものはどれか。[R4.10/R2.10]

「道路運送車両」とは、（ ）をいう。

1. 自動車，原動機付自転車及び軽車両  
2. 自動車及び軽車両  
3. 原動機付自転車及び軽車両  
4. 自動車及び原動機付自転車

【2】「道路運送車両法」に照らし、自動車の種別に該当しないものは、次のうちどれか。  
[3CR5.10]

1. 軽自動車      2. 小型自動車  
3. 普通自動車    4. 大型自動車

【3】「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、自動車の種別のうち小型自動車の長さとして、適切なものは次のうちどれか。[編集部]

1. 3.40m以下      2. 4.70m以下  
3. 4.90m以下      4. 5.00m以下

【4】「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、自動車の種別のうち小型自動車の幅として、適切なものは次のうちどれか。[編集部]

1. 1.30m以下      2. 1.48m以下  
3. 1.70m以下      4. 2.00m以下

【5】「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、総排気量1.90ℓ、長さ4.60m、幅1.60m、高さ1.90mの四輪自動車が該当する自動車の種別として、**適切なものは次のうちどれか。** [編集部]

1. 普通自動車      2. 軽自動車  
3. 小型自動車      4. 大型自動車

【6】「道路運送車両法」及び「道路運送車両法施行規則」に照らし、自動車の種別に関する次の文章の（ ）に当てはまるものとして、**適切なものは次のうちどれか。**

[編集部]

ガソリン・エンジンの小型四輪自動車にあっては、その総排気量が（ ）のものに限る。

1. 1.50ℓ以下      2. 1.80ℓ以下  
3. 2.00ℓ以下      4. 2.50ℓ以下

## ！ポイント解説

【3】～【6】小型自動車（小型四輪自動車）は、長さ、幅及び高さがそれぞれ、4.70m以下、1.70m以下、2.00m以下で総排気量が2.00ℓ以下の自動車をいう。

## 一般解説

### 道路運送車両の定義

- ①車両法第2条（定義）。
- ②この法律で道路運送車両とは、**自動車、原動機付自転車及び軽車両**をいう。

### 自動車の種別

- ①車両法第3条（自動車の種別）。
- ②この法律に規定する**普通自動車、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車及び小型特殊自動車**の別は、自動車の大きさ、構造、原動機の種類及び総排気量又は定格出力を基準として国土交通省令で定める。

### 小型四輪自動車 ※小型四輪軽自動車は参考。

- ①施行規則第2条（自動車の種別）。
- ②普通自動車、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車及び小型特殊自動車の別は、別表第1に定める。

# 自動車整備士 3級ガソリン 問題と解説 令和6年版

定価1,650円／送料300円（共に税込）

---

■発行日 令和6年1月 初版

---

■発行所 株式会社 公論出版  
〒110-0005 東京都台東区上野3-1-8  
TEL：03-3837-5731（編集）  
03-3837-5745（販売）  
FAX：03-3837-5740  
HP：<https://www.kouronpub.com/>